



Kumamoto City

# 熊本城本丸御殿大広間 完成

日本三名城のひとつといわれる熊本城は、慶長12(1607)年に加藤清正が築いたと伝えられており、築城から400年を数えました。

熊本城では平成9年に策定された熊本城復元整備計画によって、南大手門をはじめとする西出丸一帯の建造物や飯田丸五階櫓など5つの櫓とその周辺の復元整備を行ってきました。そして、天守閣と並び城郭の中心をなす本丸御殿大広間の復元が完了し、平成20(2008)年4月20日から公開されます。

本丸御殿とは、藩政の中心的建物で、対面所や公式行事の場として使用され、藩主の生活空間でもありました。当時は様々な建物が連なる殿舎群の建物で、総部屋数53室、畳総数1,570枚を数えたといわれていますが、今回は大広間棟や大台所棟、数寄屋棟などの主要な建物(部屋数25室、畳総数580枚)のみ復元しています。他の御殿に類を見ない地下通路「闇り通路」や巨大な松丸太で組まれた小屋組みを見ることが出来る大御台所など、当時の空間を体感できる見所はたくさんありますが、中でも金碧障壁画が描かれた昭君之間・若松之間は当時の絢爛豪華な書院造りを忠実に再現しています。特に昭君之間は、本丸御殿の中で最も格式の高い部屋といわれ、清正が豊臣秀吉の遺児である秀頼を迎えるために作ったとの言い伝えもあります。

他にも復元根拠となった史料や発掘調査資料、復元過程の資料や映像など、本丸御殿を深く知っていただくために様々な展示品を準備しております。

清正が建立し、細川家が代々受け継いだ本丸御殿、西南戦争から130年のときを経て甦った姿をぜひ一度ご覧ください。



昭君之間



## 熊本城築城400年祭

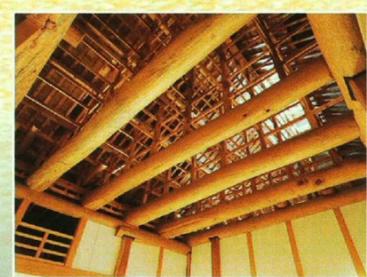
築城400年という記念すべき年を契機に、復元整備により甦る熊本城の素晴らしさと、歴史に培われた文化、豊かな自然に育まれた熊本の魅力を、広く全国に発信する。

■期間/平成19年1月～平成20年5月 ■会場/熊本城一帯

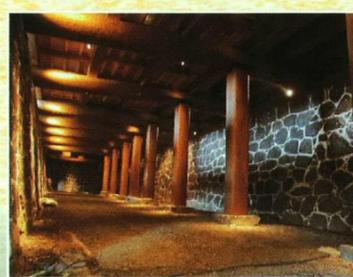
- ◆ プロローグ 夜明け — 平成18年12月31日～平成19年1月3日
- ◆ 第1章 花絵巻 — 平成19年3月24日～4月8日
- ◆ 第2章 春絵巻 — 平成19年4月28日～5月6日
- ◆ 第3章 夏絵巻 — 平成19年8月1日～8月31日
- ◆ 第4章 秋絵巻 — 平成19年10月12日～10月28日
- ◆ 第5章 冬絵巻 — 平成19年12月31日～平成20年1月3日
- ◆ エピローグ 未来へ — 平成20年3月22日～5月6日



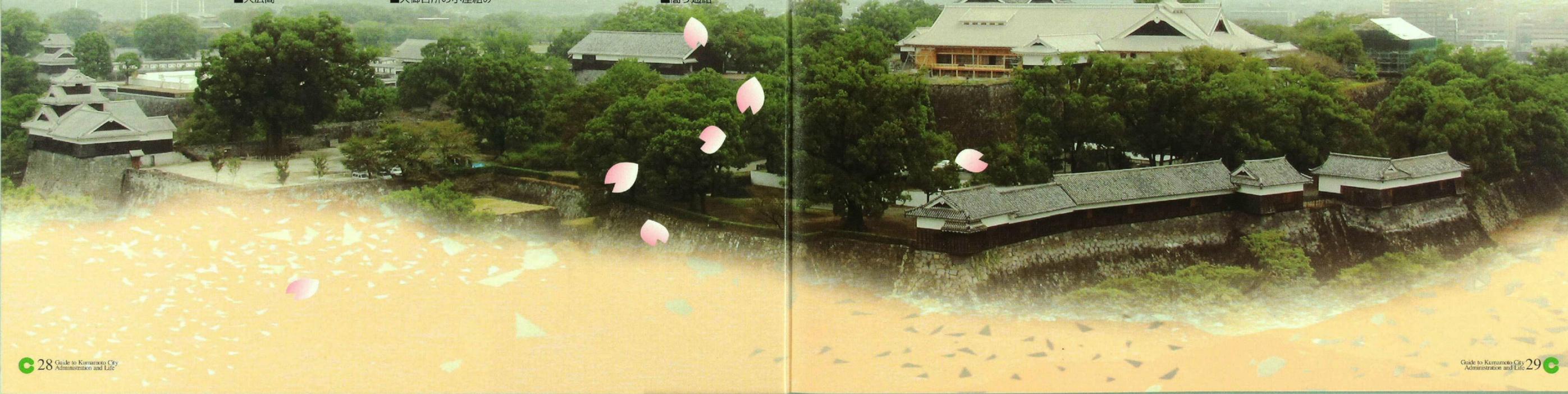
大広間



大御台所の小屋組み



闇り通路





# くまもと水ブランドの創造

## 日本一の地下水都市・熊本

～蛇口をひねればミネラルウォーター～

熊本市は67万市民の水道水源を100%天然地下水で賄う、日本最大、世界でも稀な都市です。

### 水とともに歩む歴史。



雄大な阿蘇の自然と肥後藩主加藤清正が礎を造った熊本の地下水。その豊かな地下水と育んだ歴史があります。日本三大名城といわれる「熊本城」。築山山水の庭園が水と緑の景観を形成する「水前寺成趣園」。

水と共にときを刻む熊本の歴史を体験してみませんか。

熊本のシンボル熊本城。当時の勇姿を再現した「熊本城本丸御殿」。平成20年4月20日堂々公開。

### 水が織り成す文化。



日本古来の伝統水法「小堀流踏水術」。文化が残した熊本の水を愛でる俳句。熊本には水に関わる多くの文化があります。そして現在。水と光の幻想的な空間が熊本市の秋の空間を彩る「みずあかり」。伝統的な水に感謝する心が今も新しい文化を生みだしています。熊本で今も息づきそして発展する文化に触れてみませんか。

竹と火と水が織り成す灯の祭典「みずあかり」。10月の第2土曜・日曜 数万本のろうそくの灯がお待ちしております。

### 水がもたらす安らぎの空間。



人口67万人を誇る都市規模を有しながら、都心に数多くの親水空間が形成されています。阿蘇から連なる地下水の流れが作り出す湧水群。中でも最大のものが江津湖。地下水がもたらす自然の環境が、市民はもちろん動植物への憩いの空間を提供しています。熊本で安らぎのひと時を過ごしてみませんか。

熊本の水資源を後世に伝えようと始まった「熊本水遺産」熊本の水の見所をご紹介します。

### 水が作り出す食。



水が清冽で豊かだからこそ育まれる食物。素材そのものの美味しさはもちろん、その素材を生かした美味しい料理があります。調理の隠し味は天然地下水。ミネラルと炭酸分を適度に含んだ豊かな地下水が、料理の味をいっそう引き立たせます。熊本の食の魅力を味わってみませんか。

熊本の最高のおもてなし「水」に育まれた美味しいおくりものくまもとフードブランド是非ご賞味ください。

## 熊本市総合保健福祉センター(愛称 ウェルパルクまもと)

平成20年4月1日に供用開始した熊本市総合保健福祉センターは、本市で初めて公共施設的设计・建設、維持管理、運営等を民間の資金や技術的能力を活用するPFI(Private Finance Initiative)の手法により整備しました。

この建物は、ウェルパル広場、子ども総合相談室、子ども発達支援センター、中央保健福祉センター、保健所の5つの機能を備えた複合施設で、高齢者や妊産婦の方が安全に利用できるよう、オストメイト又はシャワーパンなどを備えた多目的トイレを各階に配置するほか、火災や地震などの緊急時にはライトの点滅とチャイムで知らせる装置もあり、視聴覚に障がいのある方も安心して利用できるよう、随所にバリアフリー・ユニバーサルデザインを取り入れています。

### 施設の概要

4階……………熊本市保健所

4F

熊本市保健所

保健所は、地域医療課、生活衛生課、食品保健課、感染症対策課からなり、快適で安全な生活環境を確保するため、食品衛生、生活衛生関連施設や医療施設等の監視指導や相談業務、感染症の予防対策、衛生思想の普及向上や医療安全に関する相談業務などを行っています。

3階……………中央保健福祉センター

3F

中央保健福祉センター

保健福祉センターは市内5ヶ所に設置されており、市民の保健・福祉の向上を図るため、健康相談、保健指導、健康診査など地域保健に関し、必要な事業、福祉に係る相談・受付業務を行っています。併せて、地域の特性に応じた住民協働による健康づくりを支援しています。

2階……………子ども総合相談室

WELPAL-KUMAMOTO

「子どもに関する相談」をキーワードに育児相談をはじめ、成長発達・不登校などあらゆる相談の一次相談窓口として、保健師、保育士、心理士などの専門員が電話や来所により対応します。また、ヤングテレホン、ヤングメール業務を青少年センターから引き継ぎ実施します。

2階……………子ども発達支援センター

2F

子ども総合相談室  
子ども発達支援センター

障がい又は障がいの疑いのある子どもとその保護者を対象として、さまざまな相談支援事業や初期療育活動を行う専門的な施設です。また、子どもとその保護者が住みなれた地域社会のなかで支援を受けることができるよう関係機関との連絡調整を図り、地域ネットワーク型の支援システムの構築を図ります。

1F

ウェルパル広場 大会議室  
総合案内

1階……………ウェルパル広場

子どもから高齢者まで健康で安心して暮らせるように、NPO団体などと行政が協働で健康づくり活動を展開していく「ウェルパル広場」を整備しました。

また、授産品コーナーやイベント広場、NPO団体などの活動を支援するコーナーもあり、健康づくりと福祉に役立つ情報も発信します。





# 市議会

City Council  
시의회



牛嶋 弘議長



磯道文徳副議長

市議会は、市民から選ばれた議員48名で構成されています。会派としては、自由民主党熊本市議団(17名)、社民・民主・人(ヒューマン)市民連合(10名)、くまもと未来(10名)、公明党熊本市議団(7名)、日本共産党熊本市議団(3名)、自由クラブ(1名)の6会派が結成されています。

会議は、年4回開かれる定例会と必要がある場合に開かれる臨時会があります。内部の審査機関としては、常任委員会と議会運営委員会及び特別委員会があります。常任委員会は総務・教育市民・保健福祉・環境水道・経済・都市整備の6委員会に分かれ、所管部門の事務を調査し、議案などの審査を行います。議会運営委員会は議会の運営に関する調査を行います。特別委員会は必要に応じて議会の議決により設置されますが、付議された事件を審査するもので、現在、政令指定都市実現に関する特別委員会・出資団体等の調査に関する特別委員会の各特別委員会があります。

## ■歴代市議会議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	有馬源内	明治 22.4.26	明治 24.1.21	17	打出信行	昭和 34.6.12	昭和 36.3.24	33	内田幸吉	昭和 61.12.15	昭和 62.4.3
2	興津費章	" 24.1.22	" 28.5.13	18	寸坂幸夫	" 36.3.24	" 38.4.30	34	西村建春	" 62.5.22	" 63.12.16
3	河原惟親	" 28.5.14	" 31.5.22	19	阿部次郎	" 38.5.18	" 40.3.18	35	村上春生	" 63.12.16	平成 2.3.26
4	吉永為己	" 31.5.23	" 36.2.5	20	井上常八	" 40.3.18	" 40.12.7	36	野昭三	平成 2.3.26	" 3.4.30
5	山田珠一	" 36.2.6	" 37.4.30	21	石井辰雄	" 41.7.4	" 42.4.30	37	嶋田幾三	" 3.5.17	" 5.12.3
6	吉永為己	" 37.5.27	大正 2.4.30	22	阿部次郎	" 42.5.20	" 43.7.3	38	中村村徳生	" 5.12.3	" 7.4.30
7	林千	大正 2.5.10	" 6.4.30	23	坂梨田露	" 43.7.13	" 45.12.4	39	荒木哲美	" 7.5.19	" 9.3.27
8	山隈康	" 6.5.15	" 10.9.30	24	黒田弥一郎	" 45.12.4	" 46.4.30	40	主海倫佐雄	" 9.3.27	" 11.4.30
9	迫源次郎	" 10.10.14	" 14.9.30	25	落水清	" 46.5.20	" 48.6.6	41	江藤正行	" 11.5.21	" 13.6.8
10	山隈康	" 14.10.12	昭和 9.5.7	26	古川国雄	" 48.6.6	" 50.4.30	42	白石石正	" 13.6.8	" 14.6.18
11	平野龍起	昭和 9.5.8	" 17.6.14	27	垣正良	" 50.5.16	" 52.6.4	43	宮原政	" 14.6.18	" 15.4.30
12	佐藤真佐男	" 17.7.23	" 22.4.29	28	上田堅太	" 52.6.4	" 54.4.30	44	落水清一	" 15.5.23	" 16.9.7
13	佐藤真佐男	" 22.6.9	" 23.4.7	29	島永慶	" 54.5.14	" 56.12.8	45	古川三照	" 16.9.7	" 17.12.20
14	大塚勇次郎	" 23.6.5	" 26.4.29	30	藤山増美	" 56.12.8	" 58.4.30	46	税牛	" 17.12.20	" 19.4.30
15	大塚勇次郎	" 26.5.15	" 30.4.30	31	宮原光男	" 58.5.18	" 60.9.6	47	牛嶋弘	" 19.5.24	在任中
16	兼坂安次	" 30.5.21	" 34.4.8	32	大石文夫	" 60.9.6	" 61.12.15				

## ■歴代市議会副議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	下田直造	明治 22.4.26	明治 24.1.21	19	大塚勇次郎	昭和 22.6.9	昭和 23.6.5	37	田尻武男	昭和 56.12.8	昭和 58.4.30
2	下田耕十郎	" 24.1.22	" 31.5.22	20	加川恒利	" 23.6.5	" 26.4.29	38	白石政	" 58.5.18	" 60.9.6
3	片山基定	" 31.5.23	" 32.2.7	21	北上野	" 26.5.15	" 28.9.5	39	北吉竹	" 60.9.6	" 61.12.15
4	林山基定	" 32.2.8	" 36.2.5	22	野勉吉	" 28.9.25	" 30.4.30	40	吉竹村本	" 61.12.15	" 62.4.30
5	出田彦太郎	" 36.2.6	" 36.2.11	23	森光貞	" 30.5.21	" 32.12.28	41	村上裕公	" 62.5.22	" 63.12.16
6	園部正	" 36.2.12	" 36.5.11	24	吉村貞次	" 34.6.12	" 35.3.21	42	村上裕公	" 63.12.16	平成 2.3.26
7	園部正	" 36.5.12	" 37.2.12	25	坂村貞次	" 35.3.21	" 37.7.9	43	西藤原	平成 2.3.26	" 3.4.30
8	有板正	" 37.2.13	" 40.11.4	26	吉村貞次	" 37.7.9	" 38.4.30	44	西藤原	" 3.5.17	" 5.12.3
9	有板正	" 40.11.4	" 42.1.27	27	石井辰雄	" 38.5.18	" 41.7.4	45	伊宮寛正	" 5.12.3	" 7.4.30
10	河板正	" 42.1.28	大正 2.4.30	28	吉佐藤	" 41.7.4	" 42.4.30	46	中宮	" 7.5.19	" 9.3.27
11	井井峯	" 2.5.10	" 6.4.30	29	佐藤辰男	" 42.5.20	" 44.3.24	47	中宮	" 9.3.27	" 11.4.30
12	井井峯	" 6.5.15	" 7.3.10	30	古川国雄	" 44.3.25	" 44.6.28	48	鈴木昌健	" 11.5.21	" 13.6.8
13	藤水野	" 7.3.11	" 10.9.30	31	岩尾山	" 44.9.13	" 46.4.30	49	岡田田	" 13.6.8	" 14.6.18
14	水野	" 10.10.14	" 14.9.30	32	阪本木	" 46.5.20	" 48.6.6	50	岡田田	" 14.6.18	" 15.4.30
15	河平	" 14.10.12	昭和 4.9.30	33	阪本木	" 48.6.6	" 50.4.30	51	竹原入	" 15.5.23	" 16.9.7
16	平橋	" 4.10.12	" 9.5.7	34	藤矢	" 50.5.16	" 52.6.4	52	家田	" 16.9.7	" 17.12.20
17	橋本	" 9.5.8	" 17.5.20	35	藤矢	" 52.6.4	" 54.4.30	53	家田	" 17.12.20	" 19.4.30
18	西郷	" 17.6.11	" 22.4.29	36	上野	" 54.5.14	" 56.12.8	54	磯道文	" 19.5.24	在任中

## ■市議会議員(平成19年8月1日現在)

氏名	会派	氏名	会派
牛嶋弘	自民党	村上博	市民連合
磯道文	公明党	東すみよ	市民連合
紫垣正仁	自民党	日和田よしこ	公明党
田中敦朗	未	藤岡照代	公明党
重村和征	未	坂田誠二	自民党
那須須丸	共産党	下川寛未	来
上田芳裕	市民連合	田尻清輝	未
前田憲秀	公明党	北口和皇	自由
原亨	自民党	中松健児	市民連合
澤田昌作	自民党	佐々木俊和	市民連合
倉重徹	自民党	田尻将博	市民連合
満永寿博	自民党	田尻正信	市民連合
高石浩文	未	来	来
島和男	未	来	来
田尻善裕	未	来	来
上野美恵子	共産党	古川泰三	自民党
東美千子	市民連合	税所史照	自民党
有馬純夫	公明党	落江藤正弘	自民党
三島良之	自民党	主海偉佐雄	自民党
津田征士郎	自民党	嶋田幾雄	自民党
白河部貞志	未	来	来
藤山英美	未	来	来
田中誠一	未	来	来

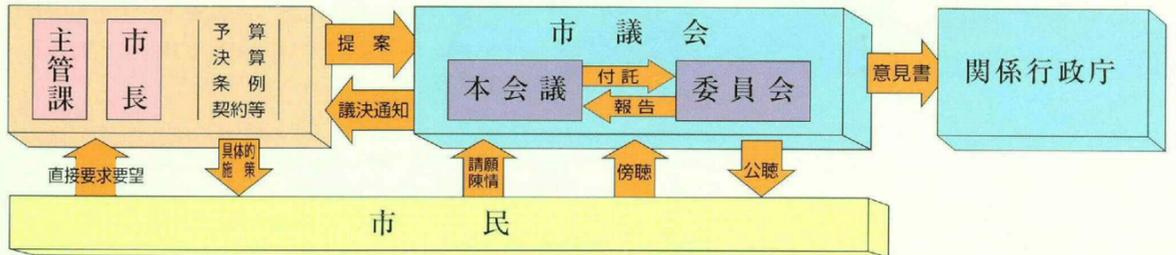


本会議場

## ■常任・特別委員会(平成20年4月1日現在)

名称	定数	所管事項
常任委員会	総務委員会	8 総務局、企画財政局、会計室、消防局、選挙管理委員会、監査委員、人事委員会の所管に属する事項、他の常任委員会の所管に属しない事項
	教育市民委員会	8 市民生活局、教育委員会の所管に属する事項
	保健福祉委員会	8 健康福祉局、子ども未来局、市民病院の所管に属する事項
	環境水道委員会	8 環境保全局、水道局の所管に属する事項
	経済委員会	8 経済振興局、農業委員会の所管に属する事項
	都市整備委員会	8 都市建設局、交通局の所管に属する事項
議会運営委員会	13 議会運営に関する調査	
特別委員会	政令指定都市実現に関する特別委員会	12 政令指定都市実現に向けた対策の推進に関する調査
	出資団体等の調査に関する特別委員会	12 本市が出資する団体の業務運営のあり方や経営の健全化など諸問題の調査

## ■市議会のしくみ





# 広報・広聴

Public relations and open public hearings  
홍보, 공청회

広報広聴活動では、積極的な情報提供と市民の声を適宜行政に反映できるよう取り組んでいます。

## 広報活動

### 各種媒体による広報

市政日より、点字・音声・拡大版の市政だよりのほか、ホームページ、テレビ・ラジオ、新聞、雑誌など、各種媒体を利用し、市政の動きや生活情報をお知らせしています。また、子ども向けホームページや携帯電話版ホームページを設けるなど、充実に努めています。

### 市ホームページアドレス

<http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/>

### 携帯電話版市ホームページアドレス

<http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/mobile/>

### 報道機関を通じた広報

市政情報を積極的に報道機関に提供し、パブリシティ活動に努めています。

## 広聴・相談活動

広く市民一人ひとりの意見をお聴きし、市政へ反映します。



まちづくりトーク

### まちづくりトーク

市長が本庁舎内で熊本市のまちづくりについて、直接市民と意見交換を行います。

### おでかけトーク

市長が総合支所や市民センターなど地域に出向き、市政運営について市民の理解を深めるとともに、直接市民と意見交換を行います。

### ゆめトーク

市長が各集会・会合に出向き、本市が重点的に取り組む特定のテーマについて直接市民と意見交換を行います。

### 校区自治協トーク

市長が地域に出向き、校区自治協議会の方々と市政運営や校区のまちづくりについて意見交換を行います。

### パブリックコメント制度

本市行政計画や条例等の素案を公表し、市民から提出された意見に対する市の考えを公表するとともに、可能な限り当該計画等に反映します。

### 市民の声

市政への提案や要望などを手紙やFAX、インターネットで受け付け、熊本市HPで公開しています。

### Eメールアドレス

[kouchou@city.kumamoto.lg.jp](mailto:kouchou@city.kumamoto.lg.jp)

### 熊本市コールセンター(ひごまるコール)

熊本市の市政情報や生活情報、観光情報などの多様なお問い合わせについて、専門のセンターで案内するサービス窓口です。電話一本で専門のオペレーターがご案内します。

TEL 096-334-1500

### コールセンターホームページアドレス

<http://higomaru-call.jp>

### Eメールアドレス

[1500@higomaru-call.jp](mailto:1500@higomaru-call.jp)

FAX 096-370-2002

### 市民相談

市政相談や日常生活に関する一般相談の他、弁護士による法律相談、司法書士による相続登記相談や、税理士による税務相談などの特別相談を行っています。

# 平成20年度 熊本市機構図

(平成20年4月1日現在)



平成19年度	市長事務部局	7局27部111課
	(市民病院、消防局を除く)	
	全部局	14局40部167課
平成20年度	市長事務部局	8局28部113課
	(市民病院、消防局を除く)	
	全部局	14局40部154課

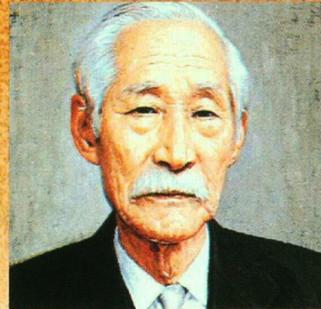
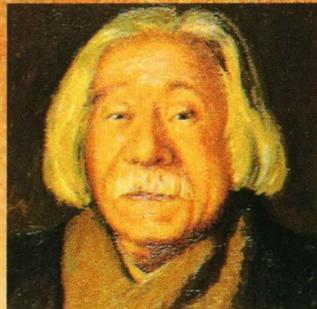
# 名誉市民

Kumamoto's Honorary Citizens

명예시민

徳富蘇峰(本名・猪一郎)氏  
(昭和30年1月1日表彰)

明治-昭和期の新聞人・歴史家。熊本洋学校・同志社に学び上京、帰郷して自由民権運動に参加し、大江義塾を開設。明治20年民友社を設立「国民之友」、同23年「国民新聞」を発行。「近世日本国民史」100巻を完結。生涯300冊の著作を残した。文久3年1月25日生れ、昭和32年11月2日死去、94歳。

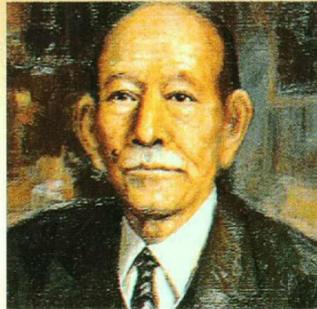


宇野哲人氏  
(昭和44年10月1日表彰)

漢学者。東京大学名誉教授。東方文化学院院長、実践女子大学学長、東方学会会長を歴任。清国(中国)に留学して支那学を、ドイツで西洋哲学を学んだ。西洋哲学の方法を用いた中国哲学の叙述は一世を風靡した。明治8年11月15日生れ、昭和49年2月19日死去、98歳。

高橋守雄氏

(昭和30年1月1日表彰)  
第7代熊本市長として、歩兵第23連隊の移転・市電・上水道の開設の三大事業を完遂、市の近代化、発展繁栄に尽した。また、教育者として東洋語学専門学校校長、熊本商科大学長を歴任、郷土教育の振興育成に努力した。明治16年1月1日生れ、昭和32年5月6日死去、74歳。



壺山南風(本名・熊次)氏  
(昭和44年10月1日表彰)

日本画家。明治42年、22歳のとき上京。大正2年第7回文展に「霜月頃」が初入賞。その後、横山大観に師事した。昭和13年、文展審査員。戦後は文化勲章受賞など日本画壇の重鎮となる。代表作に日光輪王寺薬師堂天井画「鳴竜図」、熊本市民会館織姫「火の国讃舞」などがある。明治20年9月12日生れ、昭和55年12月30日死去、93歳。

細川護立氏

(昭和35年4月1日表彰)  
旧肥後藩主細川家16代当主。有斐学舎舎長、肥後奨学会設立、多額の奨学金を出資して本県出身者の育成援護に尽した。国の文化財保護委員会委員として、本市の重要文化財、史跡、名勝等の保存活用に貢献した。明治16年10月21日生れ、昭和45年11月18日死去、87歳。



後藤是山(本名・祐太郎)氏  
(昭和54年10月1日表彰)

新聞人、俳人。九州日日新聞社入社後、国民新聞社に留学、徳富蘇峰の薫陶を受けた。帰郷後九州日日新聞社の主筆、編集長として熊本の文化振興に貢献。昭和2年、俳誌「かはがらし」(のち「東火」)を創刊主宰した。著書に「肥後の勤皇」、編書に「肥後国誌」がある。明治19年6月8日生れ、昭和61年6月4日死去、99歳。

福田令寿氏

(昭和35年4月1日表彰)  
医師、教育者、社会事業家。熊本英学校で海老名弾正らに学び受洗。エジンバラ大医学部卒。産婦人科病院開業の傍ら無料診療所兼養老院を創設。県医師会会長、公選の県教育委員長、大江高校校長、県社会福祉協議会会長、熊本YMCA理事長、県原水禁理事長など歴任。キリスト教信仰に基づく生涯を貫いた。明治5年12月7日生れ、昭和48年8月7日死去、100歳。



中村汀女(本名・破魔)氏  
(昭和54年10月1日表彰)

高浜虚子の門下生で、現代女流俳句の第一人者。常にふるさとを愛する心を底流にした「汀女俳句」は、句にふれる人々に、郷土愛を喚起させ、郷土の文化振興に貢献した。「ホトトギス」同人、「風花」を創刊主宰した。明治33年4月11日生れ、昭和63年9月20日死去、88歳。

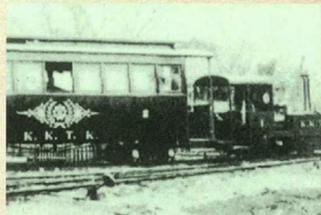


Kumamoto City  
**GuideMap**  
●熊本市案内図●

1800	明治22年 大日本帝国憲法公布	明治3年 4年	古城に医学校が創設 廃藩置県により熊本県が設置 鎮西鎮台（九州及び中国西部を管轄）が設置 熊本洋学校が創立
	明治27年 日清戦争～28年	10年 20年 22年 24年	西南の役、市街地の大半が兵火により焼失 第五高等学校（九州1校）が創立 市町村制が施行され熊本市が誕生 現在の白川公園前に市役所が開庁 門司・熊本間の九州鉄道が開通 熊本電燈会社が開業し九州に初めて電燈がとる ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）五高に着任 塘林虎五郎が児童（大江学園）を設立 ハンナ・リデル女史が回春病院設立 夏目漱石が五高に着任 ジョン・メリー・コール神父がらい救済の徒労院設立 市立避病院設立（後の白川病院）
1900	明治37年 日露戦争～38年	33年 34年 39年 40年 42年	市内に大洪水、白川橋流失し子飼橋付近溺死者多数 市内の電話が開通 熊本高等工業学校設立 安巳橋・水前寺間に軽便鉄道敷設 鹿児島本線全線開通
	1910	大正3年	44年
第一次世界大戦		大正2年	第1回国勢調査 市人口70,338人、戸数13,817戸
1920		9年 10年	隣接11カ町村合併（黒髪・池田・花園・島崎・横手・春日・古町・本荘・春竹・大江・本山）
		11年 12年 13年 14年	市立実科高等学校が市立高等女学校となる 手取本町に市役所新庁舎完成 市営電車開通 開通に伴い大甲橋を架設 市三大事業（市電・上水道・23連隊移転）完成 記念共済会開催（入場者133万人） 出水村を市に合併
1930		昭和2年	長六橋を近代式鉄橋に架け替える 市営バス発足（バス17台）
		3年 4年 5年	NHK熊本放送局でラジオ初放送 御大典記念事業として陸上競技場・野球場が完成 水前寺動物園が開園 熊本市歌を制定 市営勸業館が新市街に開館 市公会堂新館が開館
1940	昭和18年 太平洋戦争～20年	6年 7年 10年 11年 14年	白坪村を市に合併 画図村を市に合併 新興熊本大博覧会を開催 健軍村を市に合併 清水村を市に合併
	昭和21年 日本国憲法公布	15年 17年 18年 19年 昭和20年 21年 23年 24年	川尻町、日吉村、カ合村を合併 市営バスに木炭車登場 九州日日新聞と九州新聞が統合され熊本日日新聞発足 健軍に三菱重工業航空機製作所が完成する 市電気局が市交通局と改称 市立本荘産院が発足 市立市民病院発足 市消防本部設置 市立母子寮を設置 「火の国まつり」開始 市立実務員養成所（後の実務商業）を開設 市立熊本保健所を上林に開設



市内の電話開通



軽便鉄道



市バス

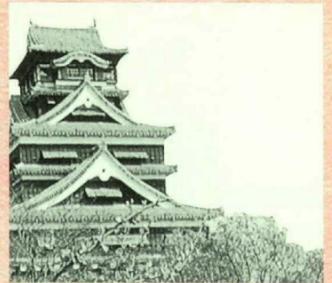


市役所新庁舎



水前寺動物園

1950	昭和26年 サンフランシスコ講和 条約調印	昭和27年 28年	市立博物館開館 田迎村、御幸村を市に合併 豪雨、大水害で市人口の66%が罹災 池上村、高橋村、城山村を市に合併 ラジオ熊本開局 秋津村を市に合併 市電30年記念「交通観光博覧館」開催 松尾村を市に合併 小島村、龍田村を市に合併 大水害で市の33%浸水、山津波による死者、行方不明者 中島村を市に合併
	昭和39年 東京オリンピック開催	29年 30年 32年 33年	熊本空港開設 熊本城天守閣再建完成 第15回国民体育大会を開催 天守閣再建記念「役員熊本大博覧会」 市総合計画策定 市民会館開館 熊本動物博覧会を開催（水辺動物園が完成）
1970		35年	託麻村を市に合併 九州縦貫自動車道（熊本一植木間）開通 「森の都」宣言 地下水保全都市宣言 健康都市宣言 中国・桂林市と友好都市締結
		45年 46年 47年 51年 54年	産業文化会館が開館 新市庁舎建設完成 総合体育館、青年会館開館 米国・サンアントニオ市と姉妹都市締結 市制施行100周年「熊本百彩」開幕
1980		56年	総合婦人会館・カルチャーセンターオープン 「水資源国際会議」を開催 「水の科学館」開館
		61年 62年 平成元年	熊本市と飽託郡4町が合併 南部スポーツセンターオープン 動物園がオープン ハイデルベルク市との友好都市締結の調印式 大名屋敷・旧細川刑部邸完成 「火の国フェスタ・くまもと'93」が開幕 ゆうあいピック熊本大会開催 国際交流会館オープン 福井市と姉妹都市締結
1990	平成7年 阪神・淡路大震災	2年	環境総合センターオープン 環境保全都市宣言
	平成10年 長野オリンピック開催	3年 4年 5年 6年 7年 8年 9年 10年 11年	中核市移行 くまもとお城まつり開幕 さくらカード（優待証交付事業）スタート 男子世界ハンドボール選手権大会・熊本開催 超低床電車、ノンストップバス運行開始 「アクアドームくまもと」完成 中核市サミット'98in熊本開催 「くまもと未来国体」開催 全国身体障害者スポーツ大会「ハートフルくまもと」開催 全国マスターズ陸上競技選手権大会を開催 「ひのくに新世紀総体」開催
2000		14年	熊本市現代美術館オープン 国際環境都市会議くまもと2002開催 託麻スポーツセンター体育館オープン 「観光立市くまもと」都市宣言決議 アジア太平洋都市サミット第5回実務者会議開催
		15年 16年 18年 19年	市政情報プラザ開設 個人情報の保護に関する条例施行 「熊本市圏及び政令指定都市についての研究会」設置 世界女性スポーツ会議くまもと開催 熊本城築城400年 熊本市中心市街地活性化基本計画認定



熊本城



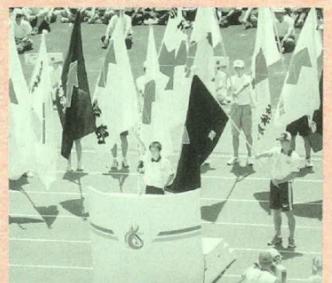
新市庁舎



四町合併



スポーツ都市宣言



国体

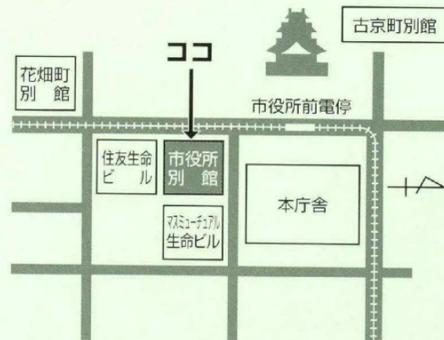


世界女性スポーツ会議くまもと

# Kumamoto City

## 統計情報室(統計課)の紹介

- ・場 所 市役所別館(自転車駐輪場)6階
- ・主な蔵書 国勢調査報告書、その他統計調査報告書  
市勢要覧、統計書、など
- ・閲覧自由 ・複写(有料)
- ・「統計情報室」ホームページアドレス  
<http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/tokei/>
- ・「統計でみる熊本市」ホームページアドレス  
<http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/aramashi/toukei/index.htm>



この市勢要覧は、本市の概要をご理解いただくため編集いたしました。

今回の市勢要覧は、簡素化しつつも内容は充実したものを目指しました。

今後もより一層の充実と好感のもてる要覧としていきたいと存じますので、ご利用いただいた方々のご意見をいただければ幸いです。

なお、編集にあたりましては、多くの方々から貴重な資料や写真の提供などご協力いただきまして、厚く御礼申し上げます。

## 平成19年度 熊本市勢要覧

印刷発行/平成20年4月  
編集発行/熊本市企画財政局  
企画情報部統計課  
熊本市手取本町1番1号  
TEL 096-328-2111  
印刷所/コロニー印刷  
熊本市二本木3丁目12-37  
TEL 096-353-1291

# 日本一の 地下水都市 熊本市

～蛇口をひねれば  
ミネラルウォーターのある暮らし～

100%天然地下水都市

蛇口をひねれば  
「ミネラルウォーター」

そんな最高の水とともにある暮らしが熊本にはあります。熊本市は67万市民の水道水源を100%天然地下水で賄う、日本最大、世界でも稀な都市です。約27万年前からの阿蘇の大噴火が作り出した水を育む自然の大地。そして加藤清正公など先人が築き伝えてきた水田や森林が大量の水を地下に供給することで、今も良質な天然地下水を育み供給しています。

水の美味しさ「熊本水物語」

世界有数のカルデラ・阿蘇がつくった幾重にも重なる地層の中で、長い年月をかけて磨かれたのが「熊本水物語」。とてもまるやかでおいしい天然の地下水です。「熊本水物語」を飲んで熊本の天然地下水のある暮らしを実感してください。

水といのちが循環する美しい  
都市生活くまもとウォーターライフ

熊本の水は  
熊本の自然、歴史、  
文化、産業を育み、様々な物語を織り成しています。  
豊かな水が熊本の風土、  
文化、暮らしを育んでいるのです。



【記事に関するお問い合わせ】  
熊本市水保全課  
TEL.096-328-2436

【有料配布のお問い合わせ】  
熊本市水道局経営企画課  
TEL.096-361-5423

熊本城本丸御殿完成





熊本市

Guide to Kumamoto City  
Administration and Life  
구마모토시 시세 요람

# 資料編

## ■資料編目次

### 人 口

1. 人口：人口動態
2. 推計年齢別（5歳階級）男女別人口
3. 国勢調査人口・世帯数の推移

### 財 政

4. 一般会計年度別決算の推移

### 産 業

5. 産業大分類別事業所数・従業者数（民営）
6. 農家数・農業就業者数・耕地面積の推移
7. 工業の主要指標
8. 商業の主要指標

### 教 育

9. 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学・専修・
10. 各種学校の状況
11. 市立図書館蔵書冊数

### 保健福祉

12. 生活保護状況
13. 国民健康保険給付状況
14. 高齢福祉状況
15. 保育所の概要
16. 医療施設

### 生活環境

17. 電灯・電力需要状況
18. ガス需要状況
19. 下水道状況
20. ごみ・し尿収集処理状況
21. 上水道給水状況
22. 熊本市消費者物価指数
23. 熊本市世帯1ヶ月の平均支出

### 図1 人口ピラミッド

### 図2 校区別人口密度・人口増減数

# 人 口

## 1. 推計人口：人口動態

単位：人

年次	世帯数	人 口	転 入			転 出			出 生	死 亡
			総 数	県 内	県 外	総 数	県 内	県 外		
平成17年	270,530	669,603	29,943	10,695	19,248	30,748	10,612	20,136	6,521	4,883
18年	273,447	670,097	29,789	11,181	18,608	30,970	10,313	20,657	6,732	5,135
19年	275,929	670,179	28,776	10,675	18,101	30,756	10,250	20,506	6,825	5,061

(注) 世帯数・人口は各年10月1日現在。  
(注) 異動数、出生数、死亡数は歴年の数値である。

## 2. 年齢別（5歳階級）男女別人口

(平成19年10月1日現在住民基本台帳を基準とした参考数値)

年齢別	総数			年齢別	総数			年齢別	総数		
	男	女	男女		男	女	男女		男	女	男女
総 数	664,127	313,156	350,971	35～39歳	46,312	22,262	24,050	75～79歳	27,028	11,252	15,776
0～4歳	32,234	16,553	15,681	40～44歳	43,338	20,398	22,940	80～84歳	18,883	6,896	11,987
5～9歳	33,471	17,187	16,284	45～49歳	43,006	20,542	22,464	85～89歳	10,108	2,876	7,232
10～14歳	34,179	17,437	16,742	50～54歳	43,924	21,248	22,676	90～94歳	4,657	1,115	3,542
15～19歳	35,633	18,135	17,498	55～59歳	50,970	24,190	26,780	95～99歳	1,442	252	1,190
20～24歳	41,603	20,678	20,925	60～64歳	38,176	17,881	20,295	100歳以上	214	28	186
25～29歳	43,811	21,191	22,620	65～69歳	33,788	15,031	18,757				
30～34歳	49,410	24,074	25,336	70～74歳	31,940	13,930	18,010				

## 3. 国勢調査人口・世帯数の推移

単位：人

年次	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
人 口	488,166	525,662	555,719	579,306	650,341	662,012	669,603
世 帯	153,540	180,239	194,486	211,207	246,700	260,672	270,530

※人口ピラミッド、校区別人口密度・人口増減数についてはP7図1、P8図2を参照

# 財 政

## 4. 財 政

単位：千円

年度	歳入総額	前年度比	歳出総額	前年度比
14	222,250,396	96%	217,350,435	96%
15	214,799,934	97%	211,403,037	97%
16	221,469,193	103%	218,010,147	103%
17	208,080,152	94%	203,875,708	94%
18	209,063,092	100%	203,874,495	100%

# 産 業

## 5. 産業（大分類）別事業所数・従業者数の推移（民営）

(平成13年事業所・企業統計調査)

産 業 別	総 数		産 業 別	総 数		産 業 別	総 数	
	事業所数	従業者数		事業所数	従業者数		事業所数	従業者数
総 数	29,998	276,551	製 造 業	1,162	23,056	金 融・保 険 業	716	12,018
農 林 漁 業	24	527	電 気・ガ ス・熱 供 給	11	918	不 動 産 業	1,392	4,269
鉱 業	6	19	運 輸・通 信 業	823	14,124	サ ー ビ ス 業	9,592	92,350
建 設 業	2,631	24,700	卸 売・小 売 業、飲 食 店	13,641	104,570	公 務	-	-

## 6. 農家数・農業従業者数・耕地面積の推移（農林業センサス）

単位：戸・人

年 次	農 家 数 (戸)				農 業 就 業 人 口 (人)	経 営 耕 地 面 積 (ha)			
	総 数	専 業 農 家	第 1 種 兼 業	第 2 種 兼 業		総 面 積	田	畑	樹 園 地
平成7年	5,911	1,959	1,750	2,202	12,610	7,601	4,758	1,082	1,761
12年	5,310	1,766	1,374	2,170	11,858	7,150	4,519	939	1,692
17年	4,494	1,837	899	1,758	10,260	6,546	4,150	815	1,581

## 7. 工業の主要指標

(工業統計調査)

単位：人・万円

年 次	事 業 所 数		従 業 者 数			製 造 品 出 荷 額 等 (百万円)		
	総 数	対 前 年 比	総 数	対 前 年 比	うち個人業主及び家族従事者数	常用雇用者数	総 額	対 前 年 比
平成15年	513	0	16,321	3.4	66	16,255	301,948	△18.6
16年	476	△7.2	16,167	△0.9	70	16,097	299,428	△0.8
17年	525	10.3	15,787	△2.4	77	15,710	296,971	△0.8

## 8. 商業の主要指標

(商業統計調査)

単位：人・100万円

年 次	商 店 数			従 業 者 数			年 間 商 品 販 売 額		
	平成11年	14年	16年	平成11年	14年	16年	平成11年	14年	16年
合 計	10,069	9,205	9,109	77,666	74,371	73,764	2,987,106	2,550,222	2,430,659
卸 売 業 計	2,781	2,417	2,416	30,561	26,324	25,242	2,162,420	1,742,463	1,606,821
小 売 業 計 (除 飲 食 店)	7,288	6,788	6,693	47,105	48,047	48,522	824,686	807,760	823,838

# 教 育

## 9. 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学・専修・各種学校の状況

(各年5月1日)

年 次	幼 稚 園		小 学 校		中 学 校		高 等 学 校		短 期 大 学		大 学 (大学院・専攻科を含む)		専 修 ・ 各 種 学 校	
	園 数	園 児 数	学 校 数	児 童 数	学 校 数	生 徒 数	学 校 数	生 徒 数	学 校 数	生 徒 数	学 校 数	生 徒 数	学 校 数	生 徒 数
平成17年	56	9,725	82	40,551	45	21,188	28	27,607	2	910	8	28,202	43	9,501
18年	56	9,691	82	40,499	45	21,251	28	26,563	1	828	8	28,514	45	9,069
19年	56	9,636	82	40,343	45	21,242	28	25,829	1	726	8	28,094	43	8,747

※高校の生徒数の総数には専攻科を含む。  
資料 県統計調査課

### 10. 市立図書館蔵書冊数

年 度	総 数	総 記	哲 学	歴 史	社会科学	自然科学	技 術
16年度	858,986	22,456	21,153	68,861	85,509	54,383	62,898
17年度	868,935	22,780	22,330	70,952	83,925	54,558	63,478
18年度	895,923	23,456	23,138	73,446	87,993	56,691	64,578

年 度	産 業	芸 術	語 学	文 学	小 説	絵 本
16年度	21,307	66,297	11,071	159,132	188,670	97,249
17年度	22,100	67,675	11,566	161,257	186,856	101,458
18年度	22,855	68,426	11,812	164,792	190,540	108,196

## 保健福祉

### 11. 生活保護状況 (月平均)

年度・月次	被 保 護 実 世 帯								被 保 護 実 人 員							
	生活 扶助	住宅 扶助	教育 扶助	医療 扶助	介護 扶助	出産 扶助	生業 扶助	葬祭 扶助	生活 扶助	住宅 扶助	教育 扶助	医療 扶助	介護 扶助	出産 扶助	生業 扶助	葬祭 扶助
平成16年度	5,587	4,890	426	6,064	1,145	1	1	17	7,894	6,635	665	7,471	1,192	1	1	17
17年度	5,748	5,054	438	6,340	1,218	1	144	21	8,062	6,804	659	7,800	1,269	1	249	21
18年度	5,986	5,209	457	6,345	1,202	1	159	12	8,364	6,952	689	7,781	1,243	1	245	12

### 12. 国民健康保険給付状況

単位：1,000円

年 度	被 保 険 者 数		保 険 料		給 付 額					
	世 帯 数	人 員	調 定 額	収 入 額	総 計	療養給付	療 養 費	出産給付	葬祭給付	高額療養費
平成16年度	128,233	241,471	25,937,206	18,726,924	35,714,675	31,369,787	232,736	342,300	65,620	3,704,232
17年度	130,408	242,754	26,040,201	18,629,278	39,123,641	34,568,900	269,638	323,100	69,280	3,892,723
18年度	132,124	242,669	28,185,083	20,068,156	40,853,215	36,244,699	297,470	367,792	72,040	3,871,214

※地方自治法施行令の改正に伴い平成14年度の療養の給付は4月～2月(11ヵ月)  
資料 市国民健康保険課

### 13. 高齢者福祉 (各年度末又は年度中)

単位：人・所

年 度	高 齢 者 数	施 設 措 置 人 員	老人クラブ会員数	老人福祉センター 利用者数(1日平均)	老人憩いの家数
平成16年度	120,372	368	28,856	614	135
17年度	123,378	365	27,972	539	135
18年度	126,958	365	28,080	539	135

※老人福祉センター利用者の総計は全体の利用者÷日数のため各センターの計とは合致しない。  
資料 市高齢保健福祉課

### 14. 保育所の概要 (各年4月1日現在)

年 次	保 育 所 数			職 員 数			入 所 者 数		
	計	市 立	私 立	計	市 立	私 立	計	市 立	私 立
平成16年	128	21	107	2,112	364	1,748	12,580	1,932	10,648
17年	128	21	107	2,076	306	1,770	12,510	1,822	10,688
18年	128	21	107	2,064	307	1,757	12,425	1,785	10,640

※数字に広域入所委託は含まれない。  
資料 市保育課

### 15. 医療施設 (各年10月1日現在)

年 次	病 院										一 般 診 療 所 ・ 歯 科 診 療 所			
	施 設 数				病 床 数						一 般 診 療 所		歯 科 診 療 所	
	総 数	精神病院	一般病院	療養病床を有する病院	総 数	精神	感染症	結核	一般	療 養	施設数	病床数	施設数	病床数
平成16年	91	15	75	40	14,555	2,785	12	32	7,255	4,471	574	2,681	343	20
17年	90	15	75	39	14,545	2,785	12	32	7,400	4,316	585	2,462	345	20
18年	89	15	74	38	14,493	2,785	12	32	7,664	4,000	583	2,301	356	20

※「感染症病床」は、「感染症予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が平成11年4月から施行され「伝染病床」から改められた。  
※一般病床には、旧その他の病床(旧療養型病床群を除く)を含む。療養病床には、旧療養型病床群を含む。  
※休止中を除く。

## 生活環境

### 16. 電灯・電力需要状況

単位：1,000Kwh

区 分	電 灯 需 要			分 類	電 力 需 要		
	平成16年度	17 年 度	18 年 度		平成16年度	17 年 度	18 年 度
総 計	1,698,902	1,796,941	1,780,485	総 計	2,947,844	3,072,371	3,072,050
定 額 電 灯	29,826	30,939	31,205	業務用電力	1,265,610	1,353,447	1,375,791
従量電灯A・B	1,234,432	1,267,315	1,214,859	小口電力	533,989	550,533	517,581
従量電灯C	431,298	495,054	531,092	大口電力	1,073,981	1,094,957	1,111,528
そ の 他	3,346	3,633	3,329	そ の 他	74,264	73,434	67,150

※定額電灯は公衆街路灯Aを含む。従量電灯A・Bは街路灯Bを含む。  
※数値は熊本東営業所、熊本西営業所の合計である。  
※熊本市だけでなく嘉島町および美里町、御船町、益城町、甲佐町、城南町、富合町、矢部町、菊陽町、合志市、植木町の一部を含む。  
資料 九州電力株式会社

### 17. ガス需要状況 (各年度・月末現在)

単位：1,000m³

年度・月次	総 数		家 庭 用		商 業 用		工 業 用		そ の 他	
	戸 数	消費量	戸 数	消費量	戸 数	消費量	戸 数	消費量	戸 数	消費量
平成16年度	114,829	69,362	105,443	25,931	7,406	16,454	153	11,892	1,827	15,085
17年度	115,813	71,707	106,566	26,205	7,283	16,710	150	12,448	1,814	16,344
18年度	116,787	80,016	107,752	25,795	7,070	15,719	148	23,142	1,817	15,351

※熊本市だけではなく益城町、菊陽町、合志町、西合志町の一部を含む。  
※四捨五入の関係で合計は必ずしも各月の合計と同じではない。  
資料 西部瓦斯株式会社

### 18. 下水道状況 (各年度末現在)

単位：ha

年 度	処理区域面積 (ha)	排水区域内人口 (A)	普及率(%) A/行政人口	処理下水量(m³)	下水道使用料 調定件数	水洗便所取付戸数
平成16年度	8,995	541,918	82.4	79,269,597	2,515,023	204,325
17年度	9,118	548,671	83.4	77,372,771	2,969,942	211,406
18年度	9,313	556,516	84.4	82,081,675	2,642,772	218,287

資料 市下水道管理課

19. ごみ収集処理状況

単位： 収集処理量 t  
し尿 kl

年度・月次	ごみ					し尿		
	収集総量	処理内容				収集総量	処理場別処理量	
		総数	焼却	埋立	再資源化		秋津浄化センター	中部浄化センター
平成16年度	320,762	320,778	284,367	15,927	20,484	74,096	27,158	46,938
17年度	302,904	302,919	273,118	10,997	18,804	70,614	25,125	45,489
18年度	293,207	293,219	267,160	7,084	18,975	67,073	22,807	44,266

※埋立処理量には焼却灰量は含まない。  
 ※処理量には、大型ごみ（16年度は台風災害ごみを含む。）の破碎処理（金属回収）の際に飛散防止を目的で添加する水分を含む。  
 資料 市廃棄物計画課

20. 上水道給水状況

（各年度末現在）

単位：人 配水量 1,000 m<sup>3</sup>

年度	給水戸数	給水人口	配水量				年間有収水量	有収率 %
			総量	1日平均	1日最大	1日最少		
平成16年度	268,840	652,010	84,414	231	256	185	75,515	89.5
17年度	274,385	653,811	84,031	230	254	183	75,174	89.5
18年度	277,469	654,819	82,294	225	255	176	74,081	90.0

※普及率 = 給水人口 / 市総人口  
 資料 市水道局

21. 熊本市消費者物価指数

（平成17年 = 100）

年次	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履き物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
平成16年	100.6	100.9	99.7	100.7	107.4	101.2	100.8	99.5	100.8	101.0	99.9
17年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
18年	100.0	101.4	99.7	104.0	92.9	99.6	99.2	100.2	100.3	97.3	100.8

資料 熊本県統計調査課「消費者物価指数年報」

22. 熊本市全世帯1か月の平均支出

単位：円

年次	消費支出											現物総額
	総額	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履き物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	その他	
平成16年	279,218	62,232	20,791	20,682	8,193	13,638	12,128	30,985	18,060	25,333	67,177	7,982
17年	300,099	63,674	29,146	19,835	9,194	14,418	13,011	36,306	15,272	30,366	68,874	11,833
18年	271,902	62,004	19,785	20,170	7,934	14,164	13,319	33,298	14,853	26,154	60,221	10,877

資料 総務省統計局「家計調査報告」

平成17年国勢調査より

図1 人口ピラミッド（平成17年10月1日現在）

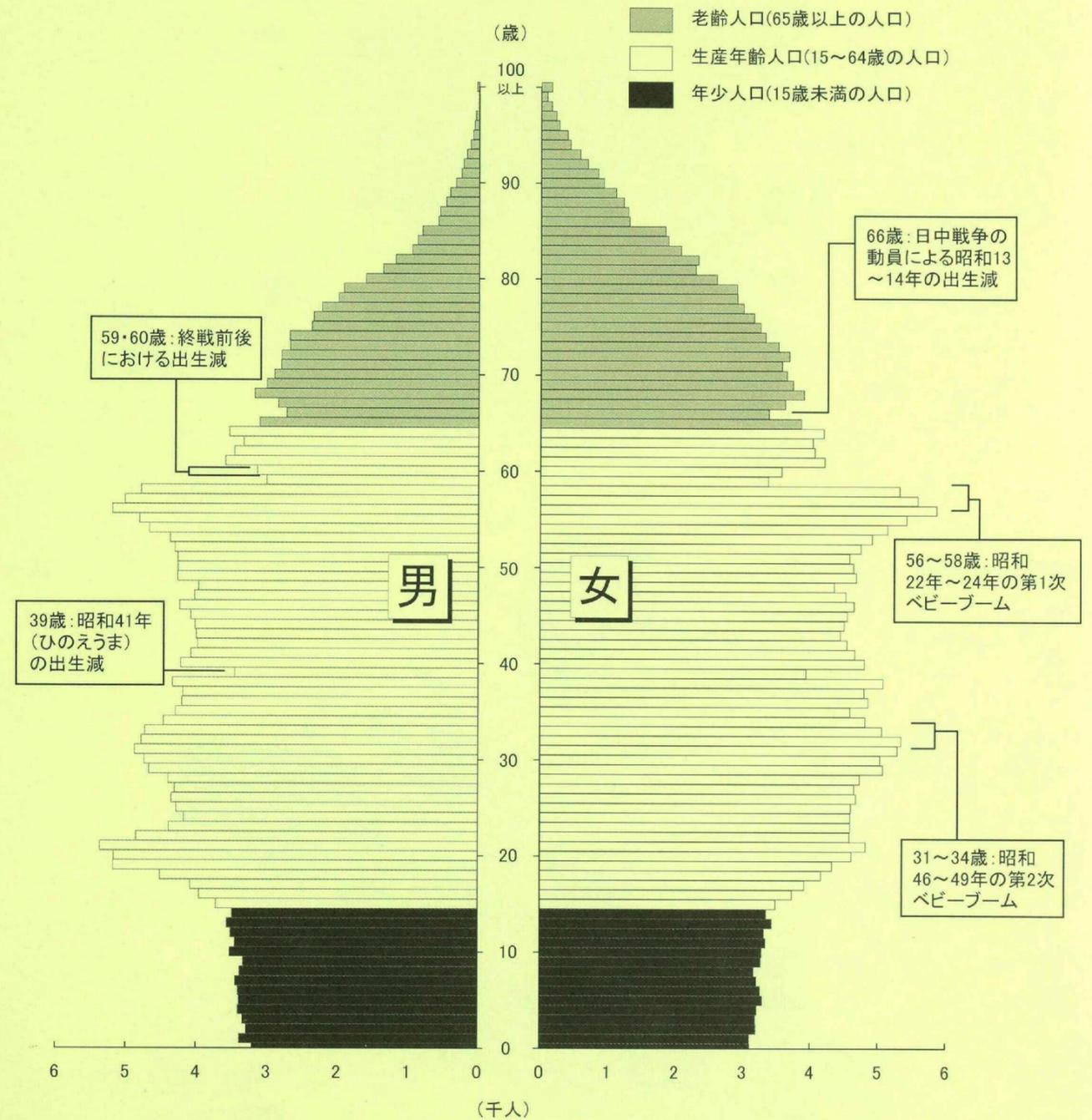
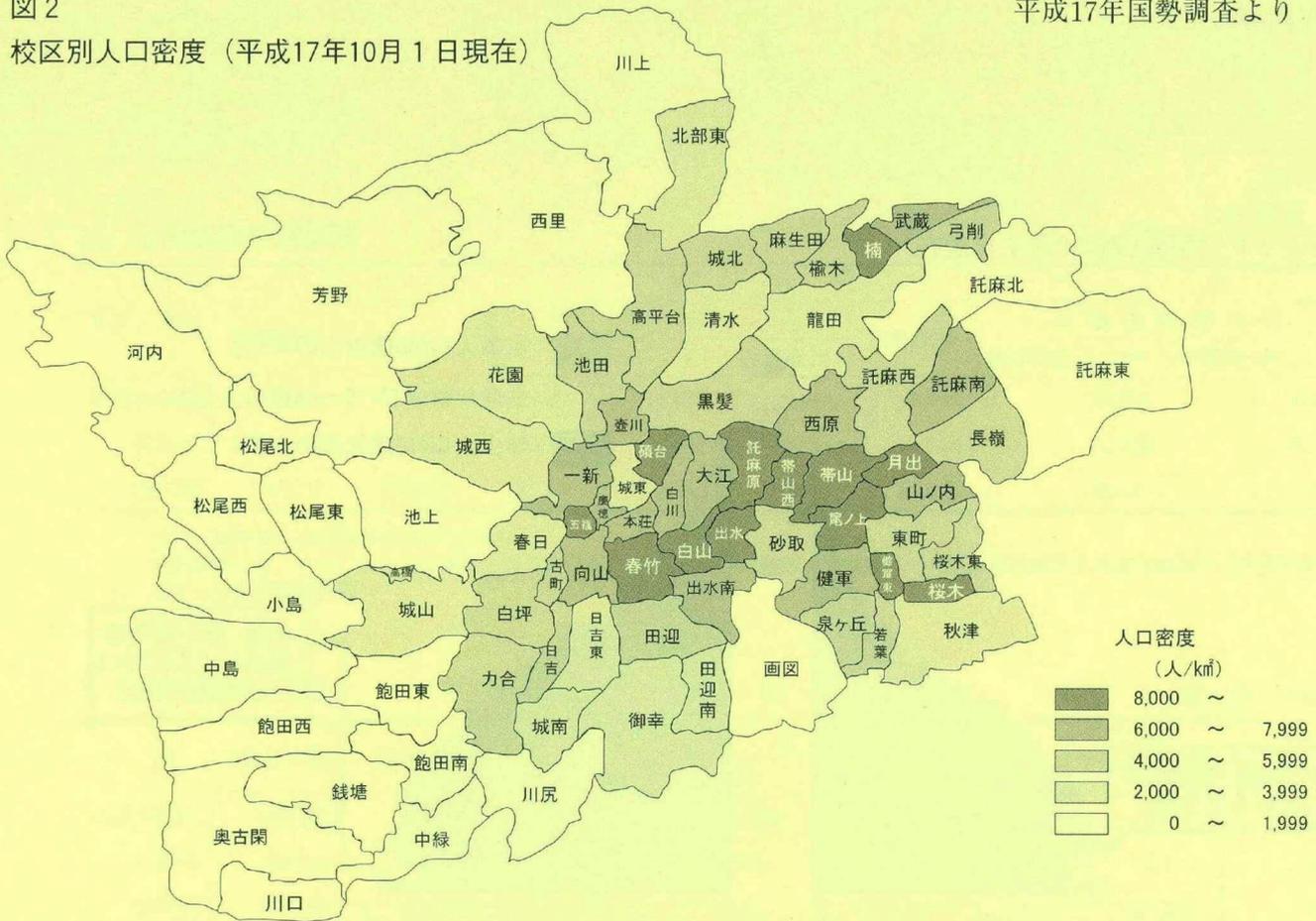


図2

平成17年国勢調査より

校区別人口密度 (平成17年10月1日現在)



校区別人口増減数 (平成12年~17年)

